

令和7年度 伊那市健康づくり推進協議会
並びに伊那市献血推進対策協議会記録

令和7年9月25日（木）午後7時～8時20分
会場：伊那市役所5階 501会議室

1 開 会 （副会長）

2 委嘱書交付

4名 （任期は前任の残任期間、令和8年6月30日まで）

3 挨拶

会 長 新井 顕 氏 （伊那市医師会）

健康福祉部 三澤部長

4 自己紹介

5 伊那市健康づくり推進協議会、伊那市献血推進対策協議会について

6 会議事項

（1）【健康づくり推進協議会】

①第4次健康増進計画と進捗状況（令和6年度保健事業実施報告）

説明：別紙資料

②令和7年度保健事業計画について

説明：別紙資料

③介護予防事業について

説明：別紙資料

④事例検討（成人保健）

説明：別紙配布資料

内容：なぜ健診を受ける必要があるのか。健診結果からわかる事とは。

実際に経年表・資料をみながら体の中で起きてくる状態を確認・学習した。

《委員からの意見》

委員

・妊婦相談 LINE 予約を取り入れてみての効果・反響について

→事務局

LINE 予約は9月時点で165人（約83%）の方の利用があり、現時点で、妊婦にとって

のメリットがあるかはわからないが、係としては事前に対象者が分かることで丁寧な対応に繋がっていると感じる。予約をせず来所する方などにも、臨機応変に対応している。今後は、おたずね用紙のDX化などで時間短縮されると市民の方のメリットになると考えている。

委員

- ・感染症対策について、義務教育に関しては、学校等欠席者情報システムがあると思うが、保育園など小さい子供たちの集団に対してシステム活用した対策を考えているか。

→事務局

保育園の感染症の情報は担当課に集まるようになっているが、保育担当にも（本日の）話しを伝え、迅速に対応できるような方法を検討したい。

今年からこども部を創設し教育委員会と兼務になっているが、まだ連携が及ばない状況がある。教育委員会とも連携できるように（担当部署へ）伝えていきたい。

委員

- ・育児に困った時にすぐに（助産師と）つながる環境を整備していきたい。産後ママのリフレッシュタイム事業の取組が市からの委託では1年目、助産師会としては2年目になった。母親達にも周知されており、予約も毎回オーバーするような状況。今後も継続的にやっていきたい。お母さんの健康や赤ちゃんの健康が、いずれ大人になって成人の健康に繋がっていくと思う。

委員

- ・事例検討を通して、細かな説明を聞いて良かった。健診の結果が体にどのように影響するのか我々が目にしやすいところで情報を得られる環境になれば良い。

委員

- ・伊那市の平均寿命と平均自立期間の考え方について。

→事務局

平均自立期間は全国的にも値が良い長野県とほぼ同じの為、悪くはない状況である。

（2）【伊那市献血推進対策協議会】

①令和6年度献血推進事業報告

説明：別紙資料

②令和7年度献血推進事業計画について

説明：別紙資料

7 その他

(事務局)

- ・すこやか健康塾(秋コース)の紹介

(委員)

- ・全国的にみて長野県の骨髄バンクドナー登録者数はとても少ない状況。
特に若年層の登録が課題となっている。
献血のPRとあわせて骨髄バンクのドナー登録の周知を協力してほしい。

8 閉 会 (副会長)